



伊豆市立天城中学校

ツゲ峠における植生調査の実施



7月24日(水)に伊豆市立天城中学校の生徒、教員および伊豆市職員等23名が、伊豆山稜線歩道上にあるツゲ峠(賀茂郡西伊豆町仁科国有林内)において植生調査を実施しました。

現地では平成23年10月にシカ防護柵を2基設置しており、今回の調査はこれらの柵の設置効果を検証することを目的としています。



シカ柵の中にある樹木の高さを測定します

調査は、各シカ防護柵の中に設定した調査地A・Bと柵外に設定したCの3箇所で行いました。時折弱い雨が降る中、生徒たちは、調査地の中にある全樹木の樹種を特定し、樹高を測定しました。昨年5月に同様の調査を行った際に記録した樹木には、番号札がつけられていたため、それらを探して樹高を測り記録する班と、今年新しく増えたものに新しい札をつけて樹種を特定し、樹高を測り記録する班に分かれて作業を行いました。調査地Aではリョウブがほとんど

一方、シカ防護柵外にある調査地Cでは、シカが嫌って食べないアセビやシキミがほとんどで、草本類はほとんど見られませんでした。柵の設置から1年半以上経過した今回、柵の中と外では植物の生育状況に大きな違いが生じていることが明らかになりました。今後も継続して同様の調査を実施するとともに、調査地A・Bの植生の違いが周りの森林の様子や潜在的な植生の違い等によるものと考えられるため、学識者等の協力のもと、より専門的な調査を行うことも必要だと考えています。(びい)



出発前に植物のおさらい



ツゲ峠は霧に包まれて幻想的



シカ柵の説明を受ける生徒たち



新しい番号札の取り付けも行いました



予想外の大きなツゲの測定に悪戦苦闘